

社会福祉法人 種の会 アルテ子どもと木幼稚園

〒164-0001 中野区中野 1-59-5

Tel 03-3365-0602

ホームページ URL <http://www.tanenokai.jp/>

2023

1

えんだより

ArteKodomotoKi



お知らせ

- 年間行事予定でお知らせしています通り、24日～26日に保護者会を開催する予定です
 - 乳児クラスは13時30分～14時30分
 - 幼児クラスは15時00分～16時00分対面での保護者会を予定しておりますが、感染状況により実施方法を変更する場合があります。詳細は後日お知らせ致します。
- 欠席の場合は、朝9時頃までに電話でご連絡下さい。9時半頃に登園の確認をしています。事故防止のため、子どもの人数確認には細心の注意をしております。連絡のない場合にはお問い合わせの電話をしますので、ご了承下さい。
- 登園確認、体調不良時の連絡も含め、最近、保護者へ電話連絡がなかなかつかない事があります。園からの着信が分かるように設定をお願いします。子どもの体調は急変することがありますので1時間以内のお迎えをお願いしております。ご協力下さい。

January 1 2023						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2	3	4	5 運動あそび 0歳児健診	6 新年子ども会	7
8	9 成人の日	10 発育測定	11 音楽あそび 0歳児健診	12	13 運動あそび	14
15	16	17 お話びっくり箱	18 音楽あそび	19	20 避難訓練 運動あそび	21
22	23	24 0・3歳児 保護者懇談会	25 音楽あそび 1・4歳児 保護者懇談会	26 運動あそび 2・5歳児 保護者懇談会	27 誕生会	28
29	30	31				



新年 明けましておめでとうございます

この一年が皆様にとって幸せな年となることを心よりお祈り申し上げます。

園長 山田寿江

あたりまえであることの幸せ

幸せの感じ方はそれぞれ異なりますが、戦争や災害のニュースは、毎日のあたりまえの生活が、どんなに幸せであるかを気づかせてくれます。今健康であること、家族がいること、ご飯を食べられること、平和に暮らせている恵まれた生活に感謝したいとも思います。

途上国の現状や戦火の国のことは、実際には想像しにくいものですが、遠い国の人々のことや世界の自然災害にも関心を持ちたいものです。

人によりそう気持ちは、自分を大切に思う心がなければ湧いてきません。誰もがかけがえのない存在です。ぎゅっと抱きしめられ、一緒に笑

い合う温かな関わりがとても重要です。愛されて育つことは、子どもの健全な成長に大きく影響します。園での生活もまた愛を育む場として、未来へ向け人と人が育ちあい共に成長していく社会的なニーズを満たしていきたいと思っています。



心の栄養 ～楽しく食べよう～

好き嫌いなどお子さんの健康に気を遣っている方もおられるでしょう。栄養は成長に欠かせませんが、美味しく食べるには「楽しく食べる」ことが一番です！心が健康でないと幸せも実感できませんね。



SDGs（持続可能な開発目標）の1は、あらゆる形態の貧困を終わらせることです。

貧困は、国際的な環境問題に通じています。SDGsの目的は、地球環境の保全と利用、消費と再生がバランスを保ち、人間と自然の共存する世界をつくることです。適切な資源の管理による安定した社会での「食」の確保が世界中で求められています。

子どもは能力ある存在

度重なる乳幼児施設での虐待報道に、ご心配も大きいことと思います。法人のマネジメントブック『糧』には「子どもを侮らないことが園風土を浄化する」とあり、子どもを侮ることは無自覚な行為として注意喚起しています。「その子らしさはその子の弱点＝課題として見えることもあります。弱点を克服してほしいことが保育者の願いになったりします。(略)子どもが人として本来持っている素晴らしさに立ち還って見ましょう。」と説かれ、法人内研修や職員会議で繰り返し学び続けています。またクラス会議や乳児・幼児の会議など、保育について話し合う機会も定期的に設けています。

子どもの権利条約では、世界中のすべての子どもが健康に生きて存分に学んだうえで自由に活動し、大人や国から守られ援助されながら成長する権利があると定めています。保育者として子どもの人権を守ることは当然です。一人ひとりと向き合いつつも集団保育ですから、子どもにとってどうかを常に考え、プロとして保育するための同僚性も高めていきたいと思っています。

園で気になることは遠慮なさらずにお声をお掛け下さい。一緒に子ども達の未来を創っていききたいと思っています。



子どもをほめる

テラスから戻ってきた A さんがエントランスの花瓶のお花を出してばら撒いています。「あーっやめてー」と保育者は声をあげます。次々に子どもが手を伸ばして、辺りはビショビショになりました。こんなシーンでは、大人も焦ってしまいマイナスな声かけになってしまいがちです。更に悪い例は、そのまま部屋に戻ってしまうことです。これでは、子どもはやらかしたら逃げたら良いと学びます。

2歳になる頃をイヤイヤ期と言いますが、それ以外の時でも、あえて大人を困らせるようなことが続くことがあります。子どもの心に共感することが良いとされますが、何もかもやりたいことをやらせることが共感ではありません。やりたくてもやっではいけないこともあります。やりたいけれど出来なくて悔しかったり、悲しかったりする気持ちに共感するのです。

散らかった花に手を伸ばして、花瓶に 1 本の花を戻しました。
「この中にこうやって入れてみてくれる？あら、上手！こっちもお願いね」と声をかけます。とたんに子ども達は花を花瓶に戻し出します。「お花さんは生きているんだよ、だから優しく持ってね。そうね、とても素敵にいらしているね、お花さんかわいいでしょ」

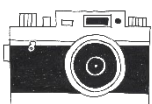


子どもが何かをできたときに「できたね、すごいね」と声をかける。ちゃんと見ていたよ、気がついていよということを知らせることが大切です。ともすれば、子どもは大人の目を引くために困らせる行動を取ることがあります。そんな時には大人もすぐに気がついて声をかけるでしょう。子どもからすれば、今、注目されたと感じ“大人に見てほしい”という欲求は満たされます。だから、再び困らせる行動を取ります。子どもは大人からの（大好きな人からの）刺激を求めています。困った行動で刺激をもらえとなると、それはどんどんエスカレートします。何気ない日頃の様子の中から“今も見ていますよ”という声かけや優しい眼差しを送ってみてください。頼んだことをしてくれたり、親が休んでいる時に静かにしてくれたり、片付けたり、当たり前なことと大人が感じることで、小さな何かを成し遂げた時には、声をかけてください。これは子どもの気持ちを満す最高の方法です。

『ちゃんと気がついていよ』ことを知らせなければいけないときはこんな時です。子どもはほめられると何度でも張り切って繰り返します。認められ褒められることで子どもは成長し、大人も少し楽になります。

主任：黒木

※今月は食事にまつわるシーンをテーマにしています。



※今月の表紙の写真は、雨宮先生が撮ったナイスショットです。5 歳児といっしょに手を繋ぐ 2 歳児の嬉しそうな顔がいいですね。

Ato0



自分で食べたい！みんなと食べると美味しいね

食べたい物を自分で手掴みをして食べる事を充分に経験する事で、つかむ、つまむといった指先の使い方を知っていきました。指先が器用に使えるようになってくると、食具を使って食べようとします。

保育士がエプロンを付けたり、食事を運ぶワゴンがやってくると、“食べ物がきたー”というように、椅子に座り始める程、食べる事が大好きです。

食具を持って、まずは自分で食べ始めます。最初はスプーンから溢れる程すくったり、力が入りすぎてこぼしたりしていました。お皿を片方の手で押さえるなど、どうしたらすくって食べられるか、自分でやってみながら食べています。

色々な物が食べられるようになってきたと同時に、好き嫌いも出てきました。見た目で嫌、味が嫌、食べたい気分ではないなど食べない理由は様々。「美味しいかも知れないよ」などと保育者に声を掛けられ介助されると口を開けて食べ始める事もあります。又、友達の食べている様子を見て、真似して食べようとする事もあります。毎日友達と一緒に食べ、食事が楽しい時間になってきました。



これは？りんご！ これは？バナナ！

部屋の中で一番子どもたちが集まっているのが、ままごとコーナーです。食べ物を手にすると「アーン」と言いながら、友達や保育士の口にもっていきます。「美味しい」と言うと、どんどん持って来てくれます。はらぺこあおむしの絵本の中で、一番好きなページが土曜日に食べたページです。たくさんの食べ物が出てくると指を差したり、食べる真似を始めたります。又、違う遊びをしていた友達も手を止めて集まってくる程です。

絵本に出てきた物が、実際の給食に出ると「アッ！」と言い同じ事がわかっているようです。知っている物があると食べてみたくなりますね。

Ato1

同じにする？ 少なめにする？

1歳アト組でも11月から主食の配膳を始めました。保育者が普通盛りと少なめによそった見本を見せ、「同じにしますか？少なめにしますか？」と問いかけて配膳をしていきます。自分の番が来ると笑顔を浮かべるMくん。保育者に問いかけられると少し考え、嬉しそうな表情で普通盛りを指していました。自分で食べる量を決めて伝えることを楽しんでいるようでした。保育者がご飯をよそうと、子どもたちの視線は保育者の手元に集中します。どのようにご飯が盛られるのか興味津々で見つめているようです。

配膳を始めて1か月が経ち、自分の意思を言葉や身振りで伝えるようになってきました。保育者との対話を通して自分の意思を伝える経験が、自分の食べられる量や嗜好を知ることにつながり、ますます食事が楽しくなることでしょう。



食べ物に見立てて

葉っぱやどんぐり、枝など子どもたちの周りには魅力的な自然物がたくさんあります。城山公園へ行くと、赤い実が成っている木を見つけました。採った実を葉っぱにのせていると、Yさんが「トマトかな？」「りんごかな？」と言って実を見つめていました。実の形や色と、身近な食べ物を重ね合わせ、目の前にある実は何なのか考えているようでした。Yさんの疑問は膨らんで「食べられるかな？」と不思議そうに言うと、Yさんの言葉を聞いていたSくんが「食べられないよ」と反応しました。本質をつくような2人のやり取りに驚いていると、「Sちゃんトマト食べられない」と呟くSくんの声が聞こえてきました。Sくんは実をトマトに見立て、自分はトマトが苦手であることを伝えているようでした。疑問が生まれるYさんと、赤い実をトマトと捉えるSくん。それぞれの見方で、食と繋ぎ合わせて自然物と関わっていました。



Pico2



悔しいけど次こそは！

ルールある遊びがわかり始めたピコ組さん。みんなでたべものカードを使って遊んでみることにしました。保育者が言う食べ物を早い者勝ちで取っていくゲームです。子どもたちは真剣な表情でカードとにらめっこ。程よい間した後「プルプル……パイナップル！」「すすくいねー！」「甘くて美味しいケーキ！」などと保育者が言えば子どもたちはすかさずカードに手を伸ばします。そんな中、NくんとKくんの手が同じカードを捉えました。保育者の審議の末、Kくんが少し早かったと伝えたとNくんはすぐにカードをKくんに手渡しました。悔しそうな表情を浮かべながらも「先生、次は？」と挑む姿勢のNくん。悔しくても次こそはと頑張る姿が素敵でした。

自分で運んで片づける

来年から幼児クラスになるピコ組さんは、お兄さんお姉さんと同じように自分が食べられる量を保育者に伝えたりトレーを使って食べ終わった食器を片づけたりと、少しずつ練習をしています。重たい食器をトレーに乗せて運ぶ姿はまるで幼児さんそのもの。「重たすぎる～」「先生やってー」と声を漏らす時もありますが、そう言いながらも保育者の待つ机まで食器の片づけを頑張っています。



絶対諦めない

クッキーの型を使って粘土に型押しをして遊びました。粘土に模様がつかると子どもたちは出来た！と大喜び。夢中になって型を押していきます。型押しをしていると突然、Oさんが「できない！」と泣き出してしまいました。どうやら模様を付けるだけでなく、クッキーのようにそれを取らないと気が済まない様子。何度も何度も挑戦するも粘土が板にくっついて上手く剥がれません。そこで保育者が一緒にやろうと提案し、長い葛藤の末に、一つだけ完ぺきなクッキーが出来上がりました。やったー！と2人で喜びあうと、Oさんは自信をつけたようにクッキーを眺めては嬉しそうに笑みを浮かべていました。

Nano3

ある日のおままごと

Kさん「すみませ〜ん、これください」

Sさん「はい、ちょっと待ってください」

Kさん「すみませ〜ん、これなんですか？」

Sさん「コショウと塩で一す」

Cさんは提供されたお料理を満面の笑みで食べていました。

レストランごっこは定番で、自然と役になりきっています。

おままごとコーナーで日々料理やおもてなしにいそしむ子ども達。そこで繰り広げられる子ども達のリアリティ溢れるごっこあそびや、やり取りを紹介します。役に憑依する姿や想像力豊かな見立てあそびにきっと感心するはずです。



～母性～

Aさんが「今おかゆ作ってるの」と、鍋に入れた白い素材をかき混ぜていました。なんでおかゆを作ったのか尋ねると、「キリンさんとウサちゃんゲホゲホしてるから」と教えてくれました。椅子に座ったAさんの傍らには、布団をかけられたウサちゃんが寝かせてられていました。Aさんはそのウサちゃんをトントンしながらご飯を食べ、今度はウサちゃんを抱いて食べさせてあげていました。柔らかい表情と優しい手付きはまるでお母さん。ウサちゃんの具合も良くなりそうです。

～料理のお手本～

何本もの箸と赤いチェーンを鍋に入れたSさん。「ミートパスタ」を作っているのだそうです。なるほど、箸は茹でる前のパスタだったんですね。

「いつもかかが作ってる」と話すSさんから、お家で料理しているお母さんをよく見ている姿が想像できました。出来上がった物だけでなく、調理過程からあそびを展開する様子が見られるままごとは面白い！食べた後はスポンジを使って洗い物を再現する子もいるのですよ。



～お・も・て・な・し～

保育者にラーメンを作ってくれたHさんが「もうちょっとしたらデザート食べたいって言ってね」と勧めてくれました。「デザートで1番人気なのはフルーツパンケーキだからね」とも教えてくれます。

出来上がったパンケーキを持って来ると、「もうちょっとフルーツいりますか？」と追加のフルーツまで乗せてくれました。一緒に持って来たポットにはシロップが入っているそうで、Hさんが直々にそれを注いでくれます。小さな声で「おいしくなあれ〜」と言いながら、たっぷり注いでくれるサービス精神旺盛なHさんに、ほっぺたが落ちるような思いになりました。

Nano4



ご飯を食べる前に食事のメニューを紹介していますが、難しいメニューや長い名前は覚えるのが大変です。おかわりする時にちゃんと伝えられるようにみんな必死で覚えようとしていますが、もちろん分からない時もあります。分からない時はお友達に聞きに行ってお友達に教えてもらう事もあり、そのやりとりはとても微笑ましいです。

～食事の時間～

☆夏頃から始まった5歳ナノ組さんとのランチタイム！最初の頃はお友達の様子が気になっていた4歳の子ども達。あの時は、「ここに座っていいよ！」と、声を掛けられる事もあり、助けてもらっていました。食事の量も5歳のお友達の伝え方（同じにする・少なくする）などに、影響を受けている子が多かったように思います。しかし、今では堂々と自分たちで何処に座ろうかな？と考えながら選んだり、食事を目の前にした時に5歳の真似ではなく自分の食べられる量をしっかり伝えられたりするようになりました。



そして、おかわりの時間を意識して食べるようにもなりました。保育者がおかわり時間は長い針が「〇〇と〇〇の間です」と伝えるとすぐに時計を見て見通しを立てている子ども達。保育者がおかわり時間を伝え忘れた日には「先生！おかわり時間は！？」と聞いてくる事もあります！なんだかとてもしっかりと頼もしく思える存在になったなと感じています！

Nano5

～みんなのだいこん～

寒空の下、みんなで大根の収穫を行いました。カブのようにまん丸とした形の聖護院大根（しょうごいんだいこん）とスーパーでよく見かける細長い形の青首大根（あおくびだいこん）の二種類があり、葉の根っこを掴み勢いよく引っっこ抜くと、スルンと抜けました！思ったより簡単に抜けてしまい「簡単に抜けたね！」「軽かったね！」と驚いた表情を見せました。一人ひとつずつ収穫し採った大根を持ってみると嬉しそうに「重いね」「なんか大根じゃないみたい」とまじまじと観察していました。

そして早速その日のうちにみんなの目の前で、給食の先生が採ったばかりの大根を切ってくれて二種類試食しました。

素材の味を楽しむために、何も味付けせずに食べたので「なんか味しない」「苦い」「いつもは大根好きだけど、これ食べたらニガテになりそう……」と素直な感想も聞こえてきましたが、「美味しいね」「（聖護院大根を指差し）こっちのほうが甘いね」と二種類食べ比べした感想や、いつも食べている大根と比べての感想を教えてくださいました。



野菜が苦手な子ども達も自分達が収穫した野菜には興味津々！食べても食べられなくても貴重な体験ができました！



～レストラン アルテ～

「あと何回寝たらクリスマス？」毎朝のお集まりでみんなでカウントダウンしてきました。ある日、「クリスマス給食なに？」という話題になり、何がでたら嬉しいか聞いてみると「ハンバーグ！」「オムライス！」「カレー！」とみんなの大好きなメニューが出てきました。その中で「ケンタッキーフライドチキン！」「チャーハン！」と面白回答も意外に多く、あえて献立を見ずに当日を迎えました。そして待ちに待った当日。特別に5歳ナノ組だけ1階ホールで給食を食べました。いつも知っている空間なのにクリスマス装飾がされ、素敵なクリスマスソングが流れ、シェフがお出迎え。みんなはレストランに来たかのように少しソワソワしながらも、着席するとシェフが目の前で料理をサーブしてくれました。一つひとつ「わあ！」とキラキラした目でみる子ども達。可愛いランチョンマットを見ては「サンタさんだ！」と嬉しそうでした。みんなでいただきますをして、明日届くであろうクリスマスプレゼントの話で盛り上がりながら美味しくいただきました。

「（にんじん）お星さまだ！」「唐揚げ大好きだから最後に食べるんだ」と大事そうに食べていました。5歳ナノ組だけの特別な空間にみんな大満足です。

「遊びは内面的なものの自主的な現れ、内面的なものそのものの現れにほかならない」

(フリードリヒ・フレーベル 1782~1852 教育者)

Atelier



「子どもと遊びと表現と」

「え〜、わたしちょっと芸術は苦手で…」

「アートって、何だかよく分からなくて…」

私たち大人って、ついつい芸術は特別なもの、敷居の高いものとして見てしまいがちではありませんか？さらに芸術作品やアート作品は、

額縁に納まっていたり展示会場にあるものであったり、日常とはやや離れたところにあるものという認識が一般的なようにも思います。

では子ども達は、創造的な活動で生まれるものを、どのように感じているのでしょうか。そして「表現」や「遊び」、更にその違い（違いがあるとすると）とどのように向き合っているのでしょうか。

4歳ナノ組の子ども達は、アート展で『自然物への「興味」そして「遊び」』という造形活動に取り組みました。実はこの活動の始まりは、子ども達が高根公園へ散歩に出かけた時に、その場にあった枝や枯葉を使ってアリの家を作って遊んだことでした。

その公園での遊びのエッセンス

にアトリエにある色々な素材をプラスしながら、子ども達は形を変化させたり、そこからイメージを広げたりして魅力的な作品を誕生させました。ひとつの遊びから出発した造形活動は、23の個性的な「表現」として輝いていました。そしてアート展も終わり、日常の中で子ども達はどんなことをしているのかと気になっていた矢先、4歳の子ども達と再び高根公園へ行くことになりました。そこで私が目にしたのは…



あの時よりもさらに目を輝かせ、自然と大胆に関わりながら自分の表現の可能性をグイグイと広げている子ども達の姿でした。それは正に普段の「遊び」の中で、力強い「表現」として自分自身を創り出そうとする、子ども達のたくましい姿にほかなりません。

(文責：一然)

くまけんだより



今年の冬は例年より暖かい日が多く気温差が激しかったため、体調を崩しやすかったのではないのでしょうか。また新型コロナウイルスも感染者数が増加傾向にあり、流行すると言われているインフルエンザと共にまだまだ注意が必要です。

感染対策には手洗いが欠かせません。日頃上手に手洗いができているかどうか、手洗いチェッカーをつかって子どもたちに自分の手を見てもらいました。しっかり手洗いができていると思っていても実際はこんなに汚れが残ったままです。白く光っている部分が汚れの落ちていない箇所です。指の間などは汚れが溜まりやすいのがよくわかります。



子どもたちはのぞき穴から自分の手をみて、汚れが落ちていないと分かったら汚れがきれいになるまで何度も手洗いを行っていました。しっかり汚れが落ちるまでには3回ほど手洗いが必要でした。上手に手洗いして1回で汚れがピカピカになるといいですね。

～インフルエンザの登園許可について～

今季は園児が季節性インフルエンザに感染しその後登園する際に必要な医療機関や保健所が発行する検査陰性の証明書や治癒証明書等の提出は必要ないと、厚生労働省から通達がありました。

登園の目安に変更はありませんので、『発症後5日を経過し、かつ解熱後3日を経過してからの登園』になります。医師記入の意見書の提出は不要ですが、登園前に看護師からご連絡させていただき状況を確認させていただきますのでご了承ください。

例	発症日	発症後5日間（登園停止期間）					発症後5日を経過		
	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
発症後 1日目 に 解熱した 場合		解熱 	1日目 	2日目 	3日目 		登園 OK 		
発症後 2日目 に 解熱した 場合			解熱 	1日目 	2日目 	3日目 	登園 OK 		
発症後 3日目 に 解熱した 場合				解熱 	1日目 	2日目 	3日目 	登園 OK 	
発症後 4日目 に 解熱した 場合					解熱 	1日目 	2日目 	3日目 	登園 OK

1月のよこい

発育測定 1月10日（火）

0歳児健診 1月 5日（木）

1月11日（水）

Lunch & Snack time

食育だより

明けましておめでとうございます

厳しい寒さが続きますが、「早寝 早起き 朝ごはん」を合言葉に規則正しい生活とバランスの良い食事を心がけ、元気いっぱいの新年のスタートになるといいですね。

大根の収穫

5歳ナノ組さんが12月に大根を収穫しました。聖護院大根はいちょう切り、青首大根はスティックにして掘りたてを味比べしました。「眉をひそめる子」「美味しい！これ好き」と反応は色々。残り的大根は切り干し大根にしました。



クリスマススペシャルランチ

クリスマス会の昼食はスペシャルランチ。5歳ナノ組さんは「アルテレストランテ」にご招待。パンとスープから始まり、大きなお皿に盛り付けたメインディッシュをサーブすると、食べる前から子どもたちの笑顔が溢れます。サンタクロースからプレゼントが届いた後のおやつはシュークリーム。子どもたちの笑顔は美味しい顔に。年の瀬の楽しい一日となりました。



1月の行事食予定



1/6（金）新年子ども会

〔昼食〕おせち料理 〔おやつ〕七草粥（1/7 七草）

1/11（水）鏡開き

〔おやつ〕揚げ餅

1/24（金）お誕生日会

〔昼食〕季節のおこわ・鶏のから揚げ

〔おやつ〕季節のケーキ

鏡開き 1月11日

正月に飾った鏡餅を1月11日に下げて、雑煮や汁粉、揚げ餅などにして食べる行事です。硬くなった餅を細かくするの「割る」「砕く」などとは言わず、

「開く」という縁起のよい表現を使います。刃物できらず、金づちなどでたたいて割るようにします。

七草 1月7日

冬の間に不足していた野菜を待ちかねて、初春の若草を摘んで汁や粥に入れて食べるという風習は、古い時代の人々の長く貴重な体験のもとに生み出された知恵がしのばれます。アルテでは、七草粥にさせていただきます。

春の七草

いくつ言えるかな？

せり なすな ごぎょう
はこべら ほとけのざ
すずな すずしろ

アルテの畑

春の植え付けに向けて養生期間中です。

